



# 武庫の宝

令和8年 2月号



三田市立武庫小学校長 大向 勲

先日、昨年もお世話になりました「認知症サポーター養成講座」が4年生対象に開催されました。そこで示された資料を見て、改めて武庫小校区の高齢化の実態を知りました。ゲストティーチャーのみなさんは小学生が認知症について理解できるようにとても工夫されています。この資料も人数の下にイラストが添えられており、朝会のスライドで全校生にも見せ、日頃お世話になっている見守りの方々に思いを馳せました。



ご存じの方も多いかと思いますが、3学期始業式から10日ほどたった頃。いつも見守りをしてくださっている方が朝、見守りの場所で体調を崩され、救急搬送されることがありました。子どもたちも私たち職員もとても心配をしていました。

数日後私は直接お出会いすることができまして、大事がないことを知り、そのことを朝登校してきた高学年の児童に声をかけたことがありました。するとその子は、「〇〇さん！」とその方の名前を知っていて、更に心配し、ほっとしている様子なのです。わたしはとても感動しました。きっと他にも心配している子がいるはずだと私は朝会でその方のご無事と、メッセージを伝えました。「安全に登校してね」という…。

たくさんの保護者や地域の方々に、様々な形でお世話になっている本校です。登下校の安全については、保護者や地域の皆様の見守りで成り立っております。その中でも緑のウィンドブレーカーを着て、基本「毎日」立っていただいている方もいらっしゃいます。その中のおひとりが今回、体調を崩されました。多くの子どもたちがその優しいまなざしとあいさつに毎朝大きな力をもらっているはずですよ。

「感謝の反対は当たり前」この言葉を今一度振り返り、2月末には「感謝の集い」も開催されます。「ありがとう」があふれる武庫小学校、武庫小校区になるよう、今後ともお力添えよろしくお願いいたします。

## 65才以上の人・・・高齢者

武庫が丘+下深田は、こんな感じ！

